

# 木望のまちプロジェクト (福井県池田町)



メガジップライン

## <3つのポイント>

- ・森林率92%の池田町が仕掛けるまち全体のプロジェクト。
- ・森や木を使って、子供たちを育む町を目指す。
- ・まちの山林をアトラクションにした「Tree Picnic Adventure IKEDA」が壮大。

木望のまちプロジェクトとは、池田町にある森や木の資源や素材を活用することで、木にふれる豊かな暮らしの創造や、森林環境の保全・育成、若者の雇用や移住・定住の拡大、小さな地域循環型経済を作りだすことを目的としています。その中でも注目したいのが「Tree Picnic Adventure IKEDA」。池田町の志津原エリアの山林に出現する日本最大の冒険の森です。

## <きっかけ>

池田町では、豊かな自然や風土を活かした個性ある街づくりに取り組んできたが、人口減少傾向に歯止めがかからず、観光客も伸び悩んでいた。これからも町が存続していくために、町に豊富にある森や木を使ってみんながつながる仕組みを作る必要があったこと。

## <目的>

町の約92%を占める森林や木を活用し、木によって子供たちを育む町にすること。さらには人と人が木や森でつながっていくような仕組みと施設作りを行うことにより、地域循環型経済の創出、若者の雇用促進、移住・定住、交流人口の拡大を目指すことを目的とする。

## <経費(主なもの)>

- ・おもちゃハウスこどもと木: 事業費20,106千円  
財源: 辺地債18,400千円、一般財源1,706千円
- ・Tree Picnic Adventure Ikeda: 事業費754,000千円  
財源: 辺地債719,000千円、県補助金2,400千円、一般財源32,600千円
- ・Wood Labo IKEDA: 事業費500千円  
財源: 一般財源500千円

## <関連法令>

池田町過疎地域自立促進計画

## <内容>

### ・おもちゃハウスこどもと木

既存の木工品展示販売施設を、木をふんだんに使って改修し、子供たちが多様な木のおもちゃと出会える場所を整備。



### ・Tree Picnic Adventure Ikeda

元キャンプ場の施設や周辺の木や森を活かして、森の中で遊ぶ「アドベンチャーパーク」や森を鳥の目線で見下ろす「メガジップライン」などを整備。

### ・Wood Labo IKEDA

木材加工所にあった子供向けの木工体験施設を、スタッフの手でリフォームし、プログラムの変更を行い、子供だけでなく大人もものづくりを楽しむことができる施設とした。



そのほか、廃校を活用した内装木質化の滞在型宿泊体験施設の整備や薪の販売所(薪の駅)の設置、1歳児に町産ヒノキの積木、小学校入学時に学校で使用する木製机、椅子のプレゼント等を実施

## <実施体制>

事業主体: 池田町  
事業及び施設の運営: (株)まちUPLいけだ、いけだ農村観光協会  
町民の自主的な活動: いけだ薪の会

## <成果>

- ・観光入込客数の増加、新しい施設による、雇用の場の確保と、Uターン者、移住定住者の増加、町民同士の交流の増加等
- ・Tree Picnic Adventure Ikedaについては、メディアに多く取り上げられたことから、池田町の知名度が上がった。

## <問い合わせ先>

福井県池田町農村政策課(農村観光協会) TEL: 0778-44-8060

E-mail: k.morita@e-ikedajp

・ツリーピクニックアドベンチャーいけだ

<https://www.picnic.ikedakibou.com/>

・おもちゃハウスこどもと木

<http://www.kodomotoki.ikedakibou.com/>

・ウッドラボいけだ

<https://www.woodlabo-ikedajp.com/>

## <ここに注目!>

このプロジェクトは、「木や森を活かして地域や人、経済が循環する仕組みを作る」ことに対する全ての取組を指します。年限や実施内容が決まったものではなく、目的を重視する事で活動の幅が広がっています。